

# マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

自治大学校に赴任してはや5ヶ月、もう少しで半年が終わると思うと、あっという間でした。今年2月頃に人事課から1年間東京行きを打診された時は、東京で暮らせるという期待感が1割、東京で暮らさなければならないという不安が9割でした。仕事内容も初めての分野、一人暮らしの経験はあるものの寮生活は初めて、土地勘も無いのでとにかく不安でした。

が、全部なんてことなかったです。どうにかかりました。同じ日本ですし。

特研究生（マネジメントコース研修生）同士すぐに仲良くなり、それぞれのご当地情報や伝え聞いていた自治大や立川の情報を共有し合うだけでも、すごく世界が広がり（というより自分の世界が狭すぎるという感覚）、非常にポジティブなスタートを切れたと思います。

私の担当は7月～8月の第3部課程第115期(3-115)でした。4月当初は、第1部課程第144期(1-144)の副担当として準備を少しだけ（他の特研究生や職員さん、非常勤職員さん方がスーパー優秀で本当に少しだけ…感謝です…）手伝いつつ、3-115の準備を始めました。準備から運営まで多々ありましたが、引継ぎもあり情報の蓄積もあるので、担当として頑張ることはありますが、どうにかかります。講師陣はもちろん、3-115の研修生も大先輩ばかりなので、多々気を遣うことはありますが、それ自体、大変良い勉強でした。

3-115が終わった今は、3-115のアンケート回収など締め作業や、1-145期の準備を徐々に進めています。

これまでの経歴とは畑違いなことばかりですが、とても楽しく、勉強になっています。

寮はアメニティのないビジネスホテルといった具合で、当初は若干狭さも感じていましたが、住んでしまえば何も不便は感じず、逆にコンパクトでちょうど良いです。将来はこんな一人部屋が欲しいと思わされました。職場へも徒歩3分、建物内なので天候不問。最寄駅（多摩モノレール高松駅）も徒歩6～7分で、10分に1本は通っているので、不自由なく過ごしています。

以上は仕事周りの話でした。以下は完全にプライベートの話ですが、結論、東京に来てよかったです！

私は趣味でクライミングをしています。今でこそ頻度は多くないですが、どハ

マリしていた頃は、平日は地元唯一あるジムに通い、土日は他県のジムに遠征に行き、週8で登っていました。東京にはかなり多くのジムがあるので、それを楽しみに上京しました。冒頭に触れた1割の期待感のうち、9割は東京でのクライミングと言っても過言ではありません。4～6月にかけて、立川を拠点に行きたかったジムには殆ど行くことができ、どのジムもどの課題（登るルート）も、新鮮で質も高く面白いものばかりで、とても満喫しています。

また、最近、人生で一度はやりたかったことの1つ「富士登山」に挑戦しました。天候等すべてが奇跡的に噛み合い、登っている最中も満点の星空の中（流れ星も見れた！）で登ることができ、ガイドさんに紹介いただいた穴場スポットで御来光も見ることができました。チープな言葉ですが、本当に感動的な体験でした。写真ではお伝えしきれない絶景です。



もう東京に来た当初の不安はほぼありません、残りの東京生活を満喫できるのかという不安の方が大きいです。しっかり楽しんで、成長して、地元に戻りたいと思います。